

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年3月20日 (2014.3.20)

【公表番号】特表2013-527778(P2013-527778A)
 【公表日】平成25年7月4日 (2013.7.4)
 【年通号数】公開・登録公報2013-035
 【出願番号】特願2013-502575(P2013-502575)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

C 0 8 G 63/08 (2006.01)

A 6 1 M 29/02 (2006.01)

C 0 8 L 101/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/00 Z B P

C 0 8 G 63/08

A 6 1 M 29/02

A 6 1 L 31/00 P

C 0 8 L 101/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月29日 (2014.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

L L A モノマーの重合反応によって、L L A モノマー含有率が 4 重量% 超の P L L A ポリマー材料を作製するステップと、

前記 P L L A ポリマー材料を処理して、前記 L L A モノマー含有率を 0.01 ~ 2 重量% に削減するステップと、

処理した前記 P L L A ポリマー材料からポリマー製ステント本体を作製するステップとを含む、

前記重合反応によって前記 P L L A ポリマー材料を作製するステップが、

160℃未満の反応温度で前記重合反応を第 1 の期間実行するサブステップ、続いて

180 ~ 200℃の間の温度で前記重合反応を実行して、4 重量% 超の前記 L L A モノマー含有率を有する前記 P L L A ポリマー材料を得るサブステップ
 を含む、ステントの製作方法。

【請求項 2】

前記重合反応の温度を調整して、4 重量% 超の前記モノマー含有率を得る、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

処理する前記ステップが、前記モノマー含有率を削減する溶媒を使用して、合成された前記 P L L A を処理するサブステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

処理する前記ステップが、前記 P L L A ポリマー材料を曝露することによって、前記材料から L L A モノマーを抽出する、液体溶媒抽出プロセスを含む、請求項 1 に記載の方法。

。

【請求項 5】

処理する前記ステップが、超臨界CO₂抽出法及び真空／高温抽出法から成る群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

処理された前記 PLLA 材料が 0.01～1 重量%の LLA モノマー含有率を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

処理された前記 PLLA 材料が 0.01～0.5 重量%の LLA モノマー含有率を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

LLA モノマーの重合反応によって、LLA モノマー含有率が 0.5 重量%未満の PLLA ポリマー材料を作製するステップと、

前記 PLLA ポリマー材料の反応温度を高めて、前記 PLLA の 0.01～2 重量%の 目標 LLA モノマー含有率まで前記モノマー含有率を増加させる、解重合を引き起こすステップと、

増加した前記モノマー含有率を有する前記 PLLA ポリマー材料からステント本体を作製するステップと

を含む、ステントの製作方法。

【請求項 9】

前記温度を目標温度まで高め、反応時間を調整して、前記目標モノマー含有率を得る、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記反応温度を、120～140℃の範囲内の温度から180℃を超える範囲内の温度まで高める、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 PLLA の 0.05～1 重量%の目標 LLA モノマー含有率まで前記モノマー含有率を増加させる、請求項 8 に記載の方法。